平成 19 年　9 月 21 日

各　位

会 社 名　株式会社パイロットコーポレーション
代表者名　取締役社長　髙橋　清
（コード番号　7846　東証・大証　第１部）
問合せ先　総務部長　　空元　直樹
（TEL.　　03 － 3538 － 3750 ）

当社及び当社グループの『生産拠点の再編計画』に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 9 月 21 日開催の取締役会におきまして「当社及び当社グループの『生産拠点の再編計画』」（以下、「本再編計画」といいます。）における具体的な方針および施策の内容を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本再編計画は、平成 18 年 11 月 27 日付で公表いたしました「当社及び当社グループの『生産拠点の再編計画』に関するお知らせ」のとおり、同日から 3 年以内を目処に国内の当社生産子会社であるパイロットプレシジョン株式会社（以下、「パイロットプレシジョン」といいます。代表者：髙橋　清／資本金：144 百万円／所在地：平塚市／事業内容：シャープペンシル・替芯・オプトセラミクス部品等の製造）を当社に吸収合併し、パイロットグループの基幹事業であります筆記具事業におけるコスト競争力および技術開発力の向上等を通じて、同社の保有する生産機能および人材を当社と早期に融合させ、世界市場に向けた企業競争力を高めるとともに、パイロットグループのコーポレート・ガバナンス体制および企業価値の更なる向上を目的とするものであります。なお、本日付で同時に公表いたしました「パイロットプレシジョン株式会社との『合併覚書』締結に関するお知らせ」に記載のとおり、合併期日は平成 20 年 7 月 1 日を予定いたしております。

記

１．本再編計画の目的

本再編計画の目的は、パイロットグループの基幹事業であります筆記具事業におけるコスト競争力および技術開発力の向上等による相乗効果を追求し、世界市場に向けた企業競争力を高めるとともに、パイロットグループのコーポレート・ガバナンス体制および企業価値の更なる向上を図ることにあります。

２．企業価値の向上を目指して

当社は、本再編計画を早期に達成し、更なる企業価値の向上に資するため、将来における当社生産拠点の基本的な役割を、次のとおり策定いたしました。

○　当社平塚工場は、高付加価値商品（高価格筆記具）の生産および新商材開発を含む研究開発拠点を目指します。
○　当社伊勢崎工場は、筆記具を中心とする量産工場拠点を目指します。

３．本再編計画の具体的施策について

(1)　組織・機能再編への取組みの概要

本再編計画の具体的施策への取組みとして、パイロットプレシジョンの主力事業でありますシャープペンシルとオプトセラミクス部品等の事業を、当社平塚工場の主幹事業に有機的かつ合理的に吸収させ、生産・設計・購買・管理を始め、技術・研究開発および知的財産等に係る人的経営資源の有効活用と組織・機能の効率化を図ることにより、コスト削減を推進してまいります。

更に、パイロットプレシジョンのシャープペンシル替芯製造部門を当社伊勢崎工場（伊勢崎市）に移転させ、他方で、一部を除く当社平塚工場の筆記具成形部門をパイロットプレシジョン所有の東豊田工場（平塚市）に移転させることによって、パイロットグループの筆記具成形機能を更に高めてまいります。

なお、当社平塚工場、当社東松山事業所（埼玉県比企郡）およびパイロットプレシジョンの各メッキ等の金属加工部門につきましては、一部を除き当社伊勢崎工場に移設し、生産効率の更なる向上を図ってまいります。

(2)　当社平塚工場における工場棟の建替計画

本再編計画を早期に達成させ、2社が保有する生産機能および人材の融合を実現させるためにも、当社といたしましては本年下期以降、平成22年10月の竣工を目標に、現在の当社平塚工場における筆記具工場棟および技術・研究開発・事務棟などの工場棟群を、順次段階的に建て替える予定であります。なお、これらの建替計画は、近年の地震・風水害等の大規模災害対策を踏まえた設計を前提としております。

【工事の概要】

①名　　称　　株式会社パイロットコーポレーション　平塚工場

②所　在　地　　神奈川県平塚市西八幡一丁目4番3号

③主な新工場棟および延べ床面積

	第一工場（3階建、食堂を含みます。）	9,180㎡（2,778坪）
	第二工場（2階建）	6,885㎡（2,082坪）
	技術研究・開発・事務棟（3階建）	3,060㎡（　926坪）
	総延べ床面積	19,125㎡（5,796坪）

④工 事 計 画　　着工予定時期　　平成19年10月

竣工予定時期　　平成22年10月

⑤設備投資額　　総額49億円（建物および付帯設備等および下記(3)の当社伊勢崎工場の増設分を含みます。）

⑥資 金 計 画　　自己資金および借入金により充当いたします。

⑦生 産 能 力　　特に変更はありません。

(3) その他の取組み

上記、当社伊勢崎工場への機能・設備等の一部移転に伴い、メッキ金属加工およびシャープペンシル替芯等を製造するための新工場棟を、同工場敷地内に増設いたします。

なお、パイロットプレシジョン跡地の活用方法につきましては、現在検討中ですので、当該活用方法が決定次第、お知らせいたします。

本再編計画は、これを国内生産体制の強化・見直しの一環と位置付け、当社の経営方針であります「顧客主義」の実践に向けた国内および海外販売体制の強化につなげてまいります。

４．今後の業績に与える影響

今期の当社連結業績に与える影響は軽微であり、来期以降の当社連結業績への影響につきましては、その詳細が明らかになり次第お知らせいたします。

５．沿革および完成予想図

【株式会社パイロットコーポレーション（平塚工場）】

昭和23年（1948年）　「パイロット萬年筆株式会社」平塚工場として操業開始
昭和37年（1962年）　総合工場竣工
昭和42年（1967年）　創立50周年記念事業として、同工場内に筆記具資料館を開設
平成元年（1989年）　「株式会社パイロット」に商号変更
平成11年（1999年）　株式会社パイロットロジテム（物流サービス子会社）を同工場内に移転
平成14年（2002年）　「株式会社パイロットグループホールディングス」（純粋持株会社）設立に伴い、同社の完全子会社となる。
平成15年（2003年）　「株式会社パイロットグループホールディングス」と合併し、「株式会社パイロットコーポレーション」（事業持株会社）に商号変更
平成17年（2005年）　ISO14001（環境マネジメントシステム）認証取得
平成19年（2007年）　ISO9001　（品質マネジメントシステム）認証取得

【パイロットプレシジョン株式会社】

昭和35年（1960年）　「パイロット機工株式会社」として設立
昭和38年（1963年）　平塚市田村（現所在地）に移転
昭和50年（1975年）　「パイロットプレシジョン株式会社」に商号変更
平成11年（1999年）　東豊田工場（平塚市）竣工
平成14年（2002年）　「株式会社パイロットグループホールディングス」（純粋持株会社）設立に伴い、同社の完全子会社となる。
平成17年（2005年）　ISO14001（環境マネジメントシステム）認証取得
平成18年（2006年）　ISO9001　（品質マネジメントシステム）認証取得

【平塚工場棟　完成予想図】

以　上